

政策シート 政策名 03 自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現
予算費目名 01 UD・男女共同参画費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 07 地方自治・都市経営

理想の姿 (30年後) ◆協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

政策の柱 (10年後) ◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

基本政策 02 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

年齢、性別、能力、国籍などの違いに関わらず、市民一人ひとりが社会の担い手として自立し、相互に尊重しつつ支え合いながら自由に社会参加することができるように、多様性の理解や環境整備を進め、誰もが安心して快適に暮らすことができるユニバーサル社会の実現を目指します。

(3) 関連するSDGsのゴール

	③保健	④教育	⑤ジェンダー					
--	-----	-----	--------	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	10,108	13,487	6,922	7,005	9,091	
決算	9,000	12,227	4,602	5,724		
人件費(報酬等)(A)	114	114	149	103	165	
人件費(人工分)(B)	37,900	44,200	40,600	36,480	33,120	
年間経費(予算又は決算+A+B)	47,014	56,541	45,351	42,307	42,376	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ユニバーサルデザインによるまちづくりに対する市民満足度	%	目標	17	17	18	18	19	19
		実績	16.7	20.1	21.3	20.3		
ユニバーサルデザインの理解度	%	目標	43	47	47	48	48	49
		実績	46.1	39.4	40.3	39.8		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

年齢、性別、能力、国籍などの違いに関わらず、市民一人ひとりが社会の担い手として自立し、相互に尊重しつつ支え合いながら自由に社会参加することができるように、多様性の理解や環境整備を進め、誰もが安心して快適に暮らすことができるユニバーサル社会の実現を目指す。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・第3次浜松市UD計画・第1期推進計画(2022-2026)に基づき各分野の事業の進捗管理を行った。
・2022年度の「UDによるまちづくりに対する市民満足度」は、前年度から1.0ポイント低下し20.3%であったが目標値(18%)については達成した。
・UDの理解度は39.8%で目標値(48%)を下回ったが、多様性と向き合うための心のUDの醸成及びUD推進を担う人材育成のための取組を行った。
・両指標とも前年度を若干下回る結果であったことから、引き続きユニバーサル社会の実現に向け、市民・事業者・市が互いに連携し、人づくり、仕組みづくり、まちづくりを進めていく必要がある。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	ユニバーサルデザイン推進事業	○	○		26,162	3,797	2.2		1.0	1.5	165
2	UD・男女共同参画デジタル運営経費	-	○		7,786	4,426	0.4			0.2	
3	UD・男女共同参画運営経費(一般諸経費のみ)	-	-		8,428	868	0.8			0.7	
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					42,376	9,091	3.4		1.0	2.4	165

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 ユニバーサルデザイン推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

すべての人が暮らしやすいまちを築くため、様々な特性や習慣の違いなど多様性の理解を進め、一人ひとりが思いやりの心をもって主体的に行動できるよう、市民、事業者及び市の協働によりユニバーサルデザインによるまちづくりを推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2000		一般会計	自治事務(その他)	浜松市ユニバーサルデザイン条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-3(1)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健	④教育	⑤ジェンダー				
事業とゴールの関連性	すべての人が暮らしやすいよう、まちづくりやものづくり、環境づくりを行っていかうとする考え方を推進していくことは、すべての人にとって公平な環境づくり(発展途上、教育差別、女性差別をなくす)へとつながっていくことが期待される。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	9,078	12,748	4,493	3,461	3,797	
	決算	8,357	11,876	2,827	2,989		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	8,357	11,876	2,827	2,989	3,797	
人件費(報酬等)(A)		114	114	149	103	165	
人件費(人工分)(B)		31,600	37,900	32,900	28,080	22,200	
人工	正規	3.6	4.1	3.9	2.8	2.2	
	再任用(31h)	1.0	1.0		0.8		
	再任用(26h)					1.0	
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	2.0	2.0	2.0	1.5	
年間経費(予算又は決算+A+B)		40,071	49,890	35,876	31,172	26,162	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
小・中学校UD出前講座等受講率(%)		目標	40	40	40	40	45	45
		実績	31	34	37	39		
UD市民リーダー養成に伴う講座受講者数(人)		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	32	25	21	25		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- 小中学校等におけるUD学習の支援
 - UD学習資料提供(小4への冊子配付、中1への電子書籍提供)、出前講座、施設見学、UD講師派遣、企業のUD出前講座等を行った。
- 市民、事業者、大学と協働でUDを推進する事業
 - UD提案事業やUD絵本ワークショップなど連携等を図った。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・第3次UD計画・第1期推進計画に基づき事業を実施した。
- ・UD出前講座受講率は、2%の増であった。
- ・UD市民リーダー養成するための段階的な人材育成事業として、ユニバーサルマナーセミナーを実施し、受講者25名の全員がユニバーサルマナー検定3級を取得した。
- ・また、実践を伴うUD実践セミナーやUD学習支援ガイドの養成講座を実施し、市民リーダーの育成を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつあり、講座やセミナー等の参加状況が回復してきた。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・多様な人々と向き合うため、心のユニバーサルデザインの醸成とともに、UD推進を担うことができる人材育成のほか、デジタル技術を活用したUD教材の開発や事業所におけるUD啓発のための事例集作成に取り組んだ。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画・第1期推進計画に基づき、デジタル技術を有効活用しながら、個性と多様性を認め合う心づくりを中心に、人づくり、仕組みづくり、まちづくりに取り組み、思いやりの心が結ぶ優しいまち・浜松の実現を図る。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・UDIについての理解を深め、多様な人への配慮、心のUDの醸成及びUD推進を担う人材育成を目的とした様々なセミナーや研修会等の開催を行う。

- 小中学校等におけるUD学習の支援
 - ・UD学習資料提供(小4、中1)、出前講座、施設見学、UD講師派遣、企業のUD出前講座等
 - ・学校等へ派遣できる市民リーダーを養成するための人材育成事業
- 市民、事業者、大学等と協働でUDを推進する事業
 - ・UD提案事業、UD絵本ワークショップ、ピクトグラム選手権
- 浜松市ユニバーサルデザイン審議会の開催
 - ・ユニバーサルデザインの推進に関する重要事項を審議
- 事業所UD啓発
 - ・事例集を活用した事業所に対するUDのメリットの理解を図る周知活動の実施
- 職員等UD研修
 - ・UDを身近に感じ、多様な方々への配慮方法を学ぶ研修の実施

事業シート (事業名) 02 UD・男女共同参画デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

多様な方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、ユニバーサルデザイン推進のための環境整備を図るとともに、デジタル技術を有効活用したユニバーサルデザイン教材の開発に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健	④教育	⑤ジェンダー				
事業とゴールの関連性	外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、コミュニケーション支援することで、公平な環境づくりにつながっていくことが期待される。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			1,527	2,611	4,426	
	決算			1,468	2,378		
	国・県支出					1,387	
	市債						
	その他						
	一般財源			1,468	2,378	3,039	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			1,400	2,800	3,360	
人工	正規			0.2	0.4	0.4	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						0.2
年間経費(予算又は決算+A+B)				2,868	5,178	7,786	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
各区窓口での音声文字化アプリケーションの利用実績(件)		目標	20	25	30	30	15	15
		実績	28	24	12	12		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

○UD推進のための環境づくり

・外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、ICTを活用したコミュニケーション支援を行う環境整備を図った。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が、窓口等で必要な支援方法を選択できるような環境整備を図るため、遠隔多言語通訳、遠隔手話通訳のほか、タブレット端末を利用した音声文字化アプリケーションを窓口配置し、12件の利用があった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、ICTを活用したコミュニケーション支援を行う環境整備を図った。
 ・デジタル技術を活用したユニバーサルデザイン啓発教材を開発し、現地に行かなくてもユニバーサルデザインを体験できるバーチャル空間ツールの試験運用を行った。
 ・アクリル板越しでも円滑なコミュニケーションが図れるようUDトークにマイクを導入した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・窓口等での円滑なコミュニケーション支援としてUDトークの活用方法を窓口職員等に改めて周知し、広めていくことで、利用促進を図る。
 ・イベントや講演会等におけるUDトークの活用を進める。
 ・ユニバーサルデザインの啓発資料や教材のデジタル化を進める。
 ・あいホール相談室においてSNS等を活用した相談体制の拡充を図る。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

・外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、利活用の周知、啓発を行う。
 ・イベントや講演会におけるUDトークの活用を図るため、ガイドラインの作成、研修等による活用例の周知を行い、誰もがイベントや講演会に参加しやすい環境整備を図る。
 ・ユニバーサルデザインの啓発資料を電子化し、いつでも閲覧できるように掲載し、周知を図るとともに、デジタル技術を活用したUD教材の開発を進める。
 ・あいホール相談事業において相談者が相談しやすい環境を構築するため、2022年度に短期間の実証実験(試験運用)を行ったLINEを活用した相談事業を2023年度から本格導入する。

事業シート (事業名) 03 UD・男女共同参画運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,030	739	902	933	868	
	決算	643	351	307	357		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	643	351	307	357	868	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,300	6,300	6,300	5,600	7,560	
人工	正規	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					0.7	
年間経費(予算又は決算+A+B)		6,943	6,651	6,607	5,957	8,428	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)